

幼児保育参観

- ◆久しぶりに親子で参加できて、家の中ではできない友達との関りを知ることができました。
 - ◆親子での共同作品を作りながら本人の思いに寄り添うことで、自信がつくと嬉しいなと思いました。
 - ◆色いろな廃材や、素材を選択して作る中でみんな違ってみんないいと思いました。
 - ◆工夫して集中して遊ぶ姿に成長を感じました。
 - ◆久しぶりに親子で運動あそびをしながら、子ども達と応援したり、悔しがったりなどのよい体験ができました。
 - ◆自然物などで秋を感じることもでき、親の方がわくわくしながら楽しかったです。
 - ◆保護者の参加が1名だったので、できれば2人に増やしていただければ嬉しかったです。
 - ◆託児をお願いしていたのですが、家庭教育学級講演会のみとは知らず、前日に保育参観中の託児はないと聞き、早く詳しく知りたかったです。
- ※たくさんのご感想をありがとうございました。コロナ禍により通常の形の開催ができず、申し訳ございませんでした。託児等では分かりやすい文書の配信が必要であることを再確認いたしました。

家庭教育学級講演会 (井原忠郷先生)

自主性のある子どもを育てる～親の役割・集団の役割～

- ◆とても魅力的な先生でまたお話をお聞きしたいと思います。
 - ◆つい言うってしまう子どもへの指示。本人が考えるまで待つことが重要だということが分かりました。
 - ◆けじめをつけること、親がゆとりを持つこと、子どもが自分のとった行動に責任をとるなど、親にとって我慢と勇気が必要だと感じました。
- ※たくさん事例を通して分かりやすく講演をしていただきましたので、親としての在り方を見直されたというご感想が多かったのですが、できることから始めるということが良いと思います。

『子どもたちが創り出す学びの世界』
～あとのびする力を育てるには～

10月30日(土)に開催した『アートな生活とあそび展』では、コロナ禍の中感染拡大予防にご協力いただきありがとうございました。

乳児も幼児も毎日の生活やあそびの中で出会う、生活素材、リサイクル素材、秋の自然物などを中心に子ども達があそび続けた造形活動の一端を見ていただきながら、その『あそび空間』の中で、ご家族にもその楽しさを感じていただき、子ども達の遊びの世界ともに味わっていただけたらと願いながら当日を迎えました。

0・1・2歳児さんは、「おもしろい!」というものに自分から関わるのが造形活動の始まりで、その後見立てたり、作り替えたり、もっと工夫しながら、乳児なりの粘り強さも生まれています。

幼児クラスでは、夏頃よりクラスをオープンにして自由に行き来することで、「ひとりを含めみんなでみんなをみんなで」というテーマの下、異年齢のつながりを深めたいと考えていました。

ホールでの「オープンクラスはじまるよ!」は、各クラスのあそびを基に、そのあそびを集結させるという職員のしかけと「子ども達がどのようにあそぶのか見てみよう!」という思いを共有しながら始めました。

イメージの共有が難しい場面もあり、前に進まない日もありましたが、子ども達は確実に表現する喜びを味わい、活動への意欲を感じることもできました。

「ゆうえんち!」「まち!」「でんしゃがはしる!」「おみせやさん!」「にんじゃやしき!」など、思い思いの場所でやりたいことを選んでやるという中で、素材の特徴や用具の使い方に気づく姿や言葉で伝え合う姿、異年齢で助け合ったり、教え合ったりする姿も多く見られるようになりました。

大人から見るとまだまだダンボールカッターが上手く使えなかったり、養生テープが上手く切れず何重にも巻いてあったり、セロテープやボンド、釘や金づちなどが適材適所で使用されていない場合もあります

が、偶然性の中で思いもかけずにおもしろい表現になったり、工夫をするようにもなり、思考力の芽生え(自分で考える力)にもなっていると感ずることができました。

来園されたご家族が子ども達の発想を大切に生かすようにして下さり、型に当てはめるのではなく、試行錯誤を許容しながら、じっくり取り組んでいただいたり、ともに遊んでいただいたことに感謝申し上げます。

先日、坂小学校で開催された「学校運営協議会」(コミュニティースクール)に参加し、坂小学校の授業を少し参観させていただきました。6年生(社会)、3年生(国語)はタブレットを使って思考を深めるという授業でした。5年生(算数)と2年生(道徳)の授業は、身体を使いながらコミュニケーション力を駆使するという授業でした。参加した地域の皆様(学校運営協議会メンバー)が、口々に教育現場の変容に驚かれていました。先生も教えるという立場から児童と学び合うという方向性を持って授業をされていると感じました。

保育現場でも、読み・書き・計算などという「認知能力」でない力、「非認知能力」という数値化できない力、具体的には「何かに集中して取り組む姿勢(問いをもつ、探求心につながる)」「主体性(自己決定)を育む」「自分の気持ちをコントロールすること」「他者とコミュニケーションできること」「自分を大切にできること」などを大切にする保育をしたいと思っております。0歳から6歳になる乳幼児の成長をみていると、『あとのびする力(非認知能力)』は、あかちゃんの時に大人がどう関わったかということが鍵になると感じます。

具体的には、スマホなどというテクノロジーに子守りをさせるのではなく、泣いている子を抱っこしてあげたり、共感して語りかけてあげたりする中で、その不安を受け止めてくれる大人がいることで、自分の気持ちを立て直すことができるようになります。

子ども達は多くのことを求めてないと思います。『あとのびする力(非認知能力)』の育成は、心の安心基地として、子ども達の創り出す学びの世界に笑顔で寄り添ってくださる家族の存在です。(園長 倉本弘子)

乳児クラス保育参観・

親子触れ合い遊びの会

講師の阿部玲子先生をお迎えして、非認知能力(後のびする力)を育むうえで、親子のアタッチメントの大切さを簡単な触れ合い遊びを通して学び合ったり、クラスでの生活やあそびの様子を参観していただきます。

参加については、コロナ禍を考慮して、同居の健康観察をしているご家族の中から2名までです。(保護者、未入園のきょうだい、小学生など各1名とカウントいたします。)

幼児クラスにきょうだいがおられる場合は、終了まで保育を致しますので、担任までお知らせください。

下記の年齢別の時間帯をご確認のうえ、時間厳守でお願いいたします。



日時: 11月9日(土)

| | 登園時間 | 親子触れ合い遊びの会 時間帯 (講師:阿部玲子先生) | クラス参観 時間帯 (生活・あそび) |
|------------------|--------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 1歳児 たんぽぽ | 午前8時 50分 までに | 9時~ 9時40分 (ホール) | 9時50分~ 10時20分 (クラス) |
| 0歳児 つくし | 午前9時 までに | 9時50分~ 10時20分 (もも) | 9時10分~ 9時40分 (クラス) |
| 2歳児 さくら もも | 午前9時 30分 までに | 10時30分~ 11時10分 (ホール) | 9時40分~ 10時20分 (園庭) |

保護者会さくらんぼ会 主催行事について

芸術の秋楽しみます!!

11/1(月) カワイコンサート

坂みみょう保育園園歌を作曲して下さった森光明先生とそのお仲間の先生方による毎年恒例の楽しいコンサートです。

11/16(火) おんぶらんとさんによる大道芸観賞

3年前の豪雨災害時に来園していただき、子ども達を笑顔にしてくださった交流が、また体験できることと思います。